

会議録

| | | | |
|----------------|--|-------------------|----|
| 会議名 (審議会等名) | 相模原市南区区民会議 | | |
| 事務局 (担当課) | 南区役所区政策課 電話042-749-2134 (直通) | | |
| 開催日時 | 令和4年9月13日(火) 10時00分～12時00分 | | |
| 開催場所 | 南区合同庁舎3階 講堂 | | |
| 出席者 | 委員 | 19人(別紙のとおり) | |
| | その他 | | |
| | 事務局 | 16人(南区長、副区长、他14人) | |
| 公開の可否 | <input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可 | 傍聴者数 | 0人 |
| 会議次第 | <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 会議の公開について 3 区長あいさつ 4 委員自己紹介 5 事務局職員紹介 6 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 会長、副会長選出 (2) 南区区民会議の概要等について <ul style="list-style-type: none"> ・区民会議とは ・市民協働のまちづくりイメージ図 (3) 第1期から第6期までの取組について <ul style="list-style-type: none"> ・南区区民会議の取組経過について ・南区区民会議開催状況 (4) 令和4年度南区役所事業について (5) 第7期南区区民会議のテーマについて 7 その他 8 閉会 | | |

審議経過

主な内容は、次のとおり。（○は委員、●は事務局の発言）

1 開会

2 会議の公開について

傍聴希望者なし

3 区長挨拶

菅谷南区長から挨拶を行った。

4 委員自己紹介

出席委員が一人ずつ挨拶を行った。

5 事務局職員紹介

出席職員が一人ずつ挨拶を行った。

6 議題

(1) 会長、副会長選出

事務局から、会長、副会長の選出について、1名を委員の互選により定めるとなっていることについて説明を行い、発言を求めた。

このことに対して、大木委員から会長に井坂委員、副会長に穂苅委員の推薦があり、推薦された両委員、出席委員の同意により、会長は井坂委員、副会長は穂苅委員と決定した。

これにより、会長、副会長から就任の挨拶があり、会議規則に則り会長を議長とし、司会進行は事務局から議長（会長）へ移った。

(2) 南区区民会議の概要等について

資料に基づき事務局から説明

(質疑なし)

(3) 第1期から第6期までの取組について

資料に基づき事務局から説明

(質疑なし)

(4) 令和4年度南区役所事業について

資料に基づき事務局から説明

(質疑なし)

(5) 第7期南区区民会議のテーマについて

資料に基づき事務局から説明

- 事務局からの提案として「地域活性化のための取組方法の検討」というテーマが示されたが、長く住むという観点で委員の皆様から意見を述べてもらいたい。

まずは、公募委員の方からお願いしたいと思う。(井坂会長)

- 南区は税収の割に公共サービスが低い印象である。

また、南区は人が多く住んでいるが、人と人のつながりが無いように感じるため、若い人も含め、歳を取ってからも人付き合いが、どうやったら広がるかがテーマとなるのではないか。(渡辺(幸)委員)

- 以前、自治会長をしていた経験があるが、相互助け合いや環境整備という点で、現在の自治会運営に課題を感じている。(増本委員)

- 南区の強みの1つは、緑道が多いことだと思うが、隣接する公園などの施設への車の往来が多いため、緑道のネットワークを活かした安心して歩ける道が増えると良い。

例えば、ウォーキングマップを作成し、こもれびの森など緑の資源を繋げられると魅力的な街になるのではないかと。(石森委員)

- 子育て世帯からの観点としては、公園やグリーンホールでのイベントなど、南区は魅力的な街であるが、買い物については、子供服を販売している店舗が無く、南町田など周辺の街へ人が流出してしまっていることが課題と考える。(渡辺(美)委員)

- 学生が卒業や就職に伴って転出してしまうことが課題である。

既存の活動を含め、相模原市と学生が連携する活動の知名度の向上や、就職支援なども活発にできたら良いと思う。(横山委員)

- 若者参加プロジェクト実行委員会として、まちづくりの提案を行っているが、若者からのアクションが少ないことが課題と感じている。(安江委員)

- 区内でも活性度に地域格差があると感じるため、一つの解を求めるのではなく、他の自治体等の成功例をもとに、マッチするものが無いか検討し、少しでも良い解を見つけることができればと思う。(長瀬委員)

- 自治会長をしているが、イベントは子供中心になるよう意識して行っている。

なお、高齢の方が、自治会を退会してしまう問題については、地域包括支援センターや民生委員等との連携を行い、高齢の方も地域で楽しく生活できるよう配慮している。

また、リーダーシップをとる方々が固定概念に囚われず、世の中の変化に合わせた発想を持つことが、会の運営には必要と考えている。（中島（千）委員）
- 災害被害などが大きかった昔のように、明日何か大きな問題が起こるのではないかと、という心配を現代はしなくて良くなっていること、何かあれば電話一本で解決できてしまうことが、自治会離れにつながっていると感じる。

自治会の中では、コロナの影響で長年続けてきたことが中断し継承できなくなっていることが問題となっている。（田村委員）
- 長く住み続けたいと思うには、人との繋がりが大事だと考える。

特にコミュニティに関しては、近所付き合いだからこそ、関係が密になりがちのため、緩やかな繋がりが良いのではないかと。

また、南区は住宅地が密集しているためウォーキングコースのような体を動かせる場所も必要だと思う。（田中委員）
- 自治会の加入率が50%を下回っている。

また、避難所運営訓練や防災訓練は自治会が主体となっているが、参加者は減少してしまっており、参加されても何をするのか分からずお客さん状態の方もいる。普段から仲間意識を持っている地域は参加率も高いと聞いている。仲間意識を高める方策を考えていきたい。（瀬尾委員）
- 地域の方々は日々、いろいろな活動を実施し積み上げてきていると感じるが、その活動が周りに見えないことが辛く感じる。どのように周知するか、一緒に助け合えるかを考えている。

また、withコロナの影響で地域全体において顔と顔のつながりが減っていると感じる。

自治会では、働く若い世代に役員を担ってもらうことが難しい世の中になっていると考え、少しずつ要所ごとに役割を担ってもらうことで、将来の担い手を育てるという意識で活動している。（篠塚委員）
- 新型コロナウイルスの感染状況の変化から、集まれる機会が少しずつ増えてきたため若いお母さん、お父さんに声かけを行っている。

高齢者が自治会を退会してしまう理由に役員を担うことが負担と聞いている。

また、新たに転入してくる若い家族の自治会参加率は低く声かけも難しいが、今後また

行事等が行えるようになればと考えている。(佐田委員)

- 住み続けたい街になるには、求められる街になる必要があると考える。

また南区は、人口こそ多いが町田などの近隣都市への流出も多いことが課題で、解決には郷土愛を高めることが良いと思う。

今の若い世代は、地域活動に参加するような教育を受けていないと感じるため、区民会議に10代の方々が参加し主体者となる機会が増えれば良いのではと思う。(九嶋委員)

- ターゲットを絞ることが大事ではないか。

例えば、子育て世代は実は一番地域や行政との関係を求める時期であるため、大和市のように若者が喜ぶ図書館を作るなど、ターゲットを絞ることが有効と考える。

また、SNSを活用し働きかけを行うことも努力せずに漫然とやってしまうと、いつの間にか離れてしまうのではないかと危機感を持っている。(草薙委員)

- 人との繋がりを希薄にしないこと、人との交流が大事だと思う。

交流が続いている地域では、大変なことも、いいことも分け合っている雰囲気があるという印象である。

また、自身の自治会では、高齢者へ役員が負担ならやらなくても良い、若い方へ会議に出席できなければなくて良いと伝えており、その代わりとして活動内容が分かるように自治会の便りを各戸配布している。

さらに、10年かけて地区計画を策定したことなど、住民と自治会が共通の話題を持つことも大事だと感じている。

課題として、高齢者においては男性の方が、地域に出る機会が少なく交流が薄れていることや、地域の学生が寄り道できるような場所がないことが挙げられる。(大木委員)

- シビックプライドといった愛着が大事ではないか。

また人は好きなこと、楽しいと思えることには、積極的に参加すると考えるため、地域活動にも楽しさが必要ではと考える。

南区区民会議で今後の取組を考える際には、“楽しさ”という視点を取り入れることも大切と思う。(井部委員)

- 子供からお年寄りまで、誰もが安心して過ごせる地域というものがコミュニティや活性化には必要だと考える。

しかしながら、自治会加入率が5割以下という状況において自治会で対応するには限界がある。まちづくり会議をもっと活用し、議論・検討を行い、さらに区民会議でも話し合いをすることで、南区全体の案となっていけば良いと思う。(穂苅副会長)

○ 各委員の問題意識や抱えている現状を共有できたと思う。

意見を総括すると、個々にアプローチの仕方こそ違えど、理想として長く住み続けたい街を作っていくことに関しては共通とを感じる。

このことから、今回のテーマを「地域活性化のための取組方法の検討」とし、包括的なところから検討を進めたいと考える。（井坂会長）

（異議なし）

以上から、第7期南区区民会議のテーマは、地域活性化のための取組方法の検討に決定した。

7 その他

篠塚委員からオダサガロードフェスタの案内

瀬尾委員からふるさとまつり（10月16日実施予定）の案内

宮澤地域振興課長から南区私の一押し写真の案内

8 閉会

以 上

相模原市南区区民会議委員名簿

(50音順・敬称略)

| | 氏名 | 所属等 | 備考 | 出欠席 |
|----|--------|---|-----|-----|
| 1 | 東 正充 | 相模原商工会議所 | | 欠席 |
| 2 | 井坂 聡 | 相模女子大学 | 会長 | 出席 |
| 3 | 石森 寿幸 | 公募委員 | | 出席 |
| 4 | 井部 弥生 | 公益財団法人 相模原市民文化財団 | | 出席 |
| 5 | 大木 恵 | 大野南地区まちづくり会議 | | 出席 |
| 6 | 金森 巖 | 公益財団法人 相模原・町田大学地域コンソーシアム (市民・大学交流センター) | | 欠席 |
| 7 | 草薙 喜義 | 相模原市社会福祉法人経営者協議会 | | 出席 |
| 8 | 九嶋 俊彦 | 公益社団法人 相模原青年会議所 | | 出席 |
| 9 | 黒子 信雄 | 東林地区まちづくり会議 | | 欠席 |
| 10 | 佐田 昌史 | 相模原市民生委員児童委員協議会 | | 出席 |
| 11 | 篠塚 実希子 | 相模台地区まちづくり会議 | | 出席 |
| 12 | 鈴木 貴市 | 相模原南交通安全協会 | | 欠席 |
| 13 | 瀬尾 守一 | 相武台地区まちづくり会議 | | 出席 |
| 14 | 田中 美加 | 北里大学 | | 出席 |
| 15 | 田村 小次郎 | 大野中地区まちづくり会議 | | 出席 |
| 16 | 中島 勝平 | 麻溝地区まちづくり会議 | | 欠席 |
| 17 | 中島 千尋 | 相模原市地区社会福祉協議会南区連絡会 | | 出席 |
| 18 | 長瀬 徹 | 株式会社ジェイコム湘南・神奈川 (相模原・大和局) | | 出席 |
| 19 | 穂苅 健二 | 新磯地区まちづくり会議 | 副会長 | 出席 |
| 20 | 増本 敏康 | 公募委員 | | 出席 |
| 21 | 安江 星那 | 南区若者参加プロジェクト実行委員会 | | 出席 |
| 22 | 横山 日南 | さがまち学生 Club | | 出席 |
| 23 | 吉田 貴子 | 女子美術大学 | | 欠席 |
| 24 | 渡辺 美帆 | 子育て親育ち応援団 With. cfc | | 出席 |
| 25 | 渡辺 幸雄 | 公募委員 | | 出席 |